



彩の国
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

家畜衛生だより

令和 8 年 8 月発行 No.8-5

ランピースキン病について

令和 8 年 7 月 1 日付で本病が家畜伝染病に位置づけられました。

発生時の防疫対策は、発症牛の殺処分対象、同居牛や周辺農場の牛の検査・移動制限・ワクチン接種等となります。

本病を疑う症状が認められた場合は、速やかに家畜保健衛生所へご連絡ください。

～発生状況～

日本 令和 6 年 11 月～12 月に 22 件発生(福岡県・熊本県)

韓国 令和5年(107 件)、令和 6 年(24 件)の発生に続き、
令和 8 年 7 月 10 日に新たに発生

令和6年11月の日本での発生は、韓国での発生(8月)直後でした。ウイルスを媒介する吸血昆虫(蚊、サシバエ、ヌカカ)、マダニ等が活発になる時期ですので、より一層の対策をお願いします。



～酪農家の方へ～

BVD バルク乳検査は全戸陰性でした！

令和 8 年 7 月に実施した、牛ウイルス性下痢(BVD)バルク乳検査は県内全戸陰性でした。

今年度2回目のバルク乳検査は令和9年2月を予定しています。

BVD 発生予防対策

- 導入牛(妊娠牛はその産子も)は、導入の都度、検査しましょう。
- BVD ワクチンを接種し、感染を予防しましょう。
- PI 牛と診断された場合は、速やかなう汰が必要です。

ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

国内で、2024年11月6日に発生が確認されました

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！

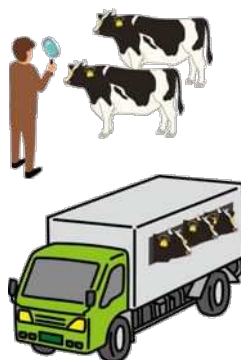


写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。